

# いこもの風

| 瀬戸内町立伊子茂小・中学校 児童生徒数 |    |    |    |    |    |    | 総計  | 令和2年<br>9月15日現在 |
|---------------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----------------|
| 小1                  | 小2 | 小4 | 小6 | 中1 | 中2 | 中3 | 24名 |                 |
| 2                   | 3  | 2  | 3  | 2  | 6  | 6  |     |                 |

【9月号】 令和2年9月15日発行 伊子茂小・中学校 TEL 76-0018

## コロナ禍に負けない大運動会

校長 櫻井 登

9月12日(土) 大運動会を開催しました。本年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、ほとんどの学校が例年と違う運動会(体育大会)の開催を余儀なくされています。

本校においても、土曜授業での午前中開催とし、入場も保護者とその家族までに制限する等、縮小した運動会となりました。しかし、児童生徒や職員は時間の許される限り、一生懸命に練習をしたり、準備をしたりし、テーマ「キバレ!～歴史に刻む新しい運動会～」を一人一人が目指して、堂々とした競技や演技を披露することができ、非常に盛り上がりのある充実した運動会になりました。まさに、コロナ禍に負けない大運動会でした。早くこのウィルスが終息して、来年度は地域合同の大運動会が開催できることを切に願います。



## フィルタリングを必ず設定してください!

子供のスマートフォンやゲーム機等のインターネット機器には、フィルタリングを必ず設定してください!

インターネット、SNSを介した犯罪被害やトラブルが増えています。

※SNSサイトにおける被害児童の現状  
(平成30年中・警察庁資料)

被害を受けた児童生徒(全国)の内

81.1% : 契約当時からフィルタリングの利用なし  
6.9% : フィルタリングを利用していたが、被害当時利用なし

【伊子茂中のインターネット利用等実態 R2年7月現在】

自分または家族のタブレット端末使用者 : 93%  
内 家庭内ルールの設定 決めている : 54%  
決めていない : 46%

自分専用の携帯電話(スマホ)所持者 : 57%  
内 フィルタリング設定者 : 25%, 未設定者 : 12.5%  
分からない : 62.5%

フィルタリングを設定しないまま子供にスマホを持たせることは、親父が子供と犯罪とのつながりを作っているようなものです。  
(鹿児島県教育庁義務教育課・高校教育課リーフレット参照)

## 1学期の保護者アンケート

| 4(大変良かった), 3(良かった), 2(もう少し), 1(課題がある) |                                                                  | 評価平均 |
|---------------------------------------|------------------------------------------------------------------|------|
| 学校では                                  | 学年に応じた課題[宿題]を出し、見届けまでできている。                                      | 3.7  |
| 家庭では                                  | 学習の習慣を身に付けさせている。<br>(2年:30分, 4年:50分, 5年:60分, 6年:60分以上, 中学生:100分) | 3.0  |
| 学校では                                  | 本好きな子供を育てる指導が充実している。                                             | 3.6  |
| 家庭では                                  | 読書に親しむ習慣を身に付けさせている。                                              | 2.9  |
| 学校では                                  | あいさつの指導に努めている。                                                   | 3.6  |
| 家庭では                                  | 毎朝、親子であいさつを交わしている。                                               | 3.5  |
| 学校では                                  | いじめを防ぎ、思いやりの心を育む教育を実践している。                                       | 3.6  |
| 家庭では                                  | いじめを防ぎ、思いやりの心を育む子育てを実践している。                                      | 3.4  |
| 学校では                                  | 「健康」や「食」に関する指導を行っている。                                            | 3.3  |
| 家庭では                                  | 「食育」を実践している。(食事のマナー、偏食防止等)                                       | 2.9  |
| 学校では                                  | 事故防止につながる安全指導を行っている。                                             | 3.6  |
| 家庭では                                  | 交通事故防止(道路横断、自転車走行)の声かけに努めている。                                    | 3.2  |
| 学校では                                  | 子供たちや先生が地域行事に参加している。                                             | 3.5  |
| 家庭では                                  | 親子で地域行事等に参加している。                                                 | 3.5  |
| 学校では                                  | 新型コロナウイルス等に対する                                                   | 3.6  |
| 家庭では                                  | 感染予防対策をとっている。                                                    | 3.2  |

1学期の保護者アンケートをまとめてみました。4が最高ポイントなので、ほとんどの項目で意識が高いと思われます。その中で、網掛け欄はポイントが低い項目です。

家庭学習については、裏面の「6090運動」を実行してください。読書については、1年間で小学生は100冊、中学生は40冊を目指してください。食育については、家庭で「だらだら食べる」や「偏食気味になっている」などの回答がありました。規則正しい食習慣を心がけてください。

来年の1月23日(土)に、きゅら島交流館で、食育日本料理家の榎木春幸先生を講師招聘して教育講演会を企画しています。榎木先生は「日本人が長い年月をかけて培ってきた食文化、そしてまた各地域の風土に応じた食文化が、継承されにくくなっている今、健康上の理由から今一度、日本食を昔からの地域で愛されてきた食で継承し、次代に伝えていくことが大切です。」とおっしゃっています。後日、案内文を配布しますので、是非参加してください。

## 【10月の行事予定】

- 2日(金) 体育館舞台設置(放課後)
- 5日(月)～9日(金) 中学校3 島合同修学旅行
- 13日(火) 中学校中間テスト(～14日)  
小学校鎮西実久地区合同修学旅行(5・6年)
- 22日(木) 生徒会役員立候補演説及び役員改選
- 23日(金) 第2回鎮西実久地区小学校集合学習会  
(見学学習)
- 27日(火) 学習発表会リハーサル
- 29日(木) 伊子茂中校区小中連携研修会及び  
パワーアップ研修
- 30日(金) 学習発表会準備⑤・⑥
- 31日(土) 学習発表会(8:50～)  
地域が育む「かごしまの教育」県民週間～11/6

## 南日本新聞(8/30)の「おせもこ」に掲載されました。

【評】冒頭に書いた「イライラ、ムシヤクシヤ、不安、悲しい気持ち」が混ざったような「気持ち」を、整理しながら書いていた文章です。行事の中止や延期、入試、コロナで亡くなった人への思いなど、絡まった糸をほぐすように書いています。また、「不安がふくらむ」「胸が痛い」という比喩表現も効果的です。最後の「中学三年生みなさん、今できることをやりましょう。」に、心打たれました。大人も負けてはおれません。

私も同じ中学三年生みなさん、将来へ希望を抱いて、今できることをやりましょう。

でも、これからは、一人一人がコロナウィルスとしっかり向き合って、自分が感染しない、周りに感染させないという意識を持って、手洗い・うがいなどをしたいです。

また、学校の臨時休業があったことで入試への不安が自分の中で一段と大きくふくらんでいます。それから、コロナウィルスで世界中のたくさんの人が亡くなっている、胸が痛く、悲しい気持ちでいっぱいです。

伊子茂中3年・瀬戸内町さん

「特別な夏」作文につづろう